

高等学校地理歴史科（地理）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	採点上の注意	配 点
1	1 5		6
	2 1		6
	3 3		6
	4 6		6
	5 6		6
	6 5		6
	7 3		6
	8 4		6
	9 1		6
	10 6		6
	11 8		6
	12 6		6
2	1 3		8
	2 4		8
	3 5		8
3	1 3		8
	2 4		8
	3 6		8
4	1 7		8
	2 3		8
	3 3		8
5	1 3		6
	2 3		6

高等学校地理歴史科（地理）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	採点上の注意	配 点
6	1 凡例Aには「新しい」、凡例Bには「古い」が当てはまる。大西洋中央部や太平洋東部では、プレート境界のうち、広がる境界付近に見られる海嶺周辺で、海洋底の形成年代が新しいことが分かる。一方、太平洋西部では、プレート境界のうち、狭まる境界付近に見られる海溝周辺で、海洋底の形成年代が海嶺からの距離に対応して古くなっていることが分かる。海嶺でプレートが形成され、海溝でプレートが消滅していくことから、海嶺から海溝に向けて、プレートの形成年代が新しいものから古いものへと分布している特徴がある。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	8
	2 図と表から、二つの湖はいずれも国内では高緯度にある一方、二つの湖の湖面積には大きな差はないことが分かる。小川原湖が全面凍結するのは、小川原湖は沿岸部に位置し、かつて海であった水域が砂丘の発達によって外海と隔てられて生まれた海跡湖であるため、平均水深が浅く容積が小さくなり、湖全体が冷えやすくなるからである。また、小川原湖よりも緯度が高い位置にある支笏湖が凍結しないのは、支笏湖は標高が高い火山の噴火によって形成されたカルデラに水が溜まって生まれたカルデラ湖であるため、平均水深が深く容積が大きくなり、湖全体が冷えるのに長い時間がかかるからである。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	12
7	1 Aがアフリカ系、Bがヨーロッパ系、Cがアジア系の人口増減割合を示している。アメリカ合衆国全体で総人口が増加しているにもかかわらず、A、Cと比べてBのみが、アメリカ合衆国全体に占める割合も減少している。アフリカ系は他の人種と比べて、出生率が比較的高く、アメリカ合衆国全体に占める割合も微増しているためAであると判断できる。また、ヨーロッパ系は出生率が低く、死亡率が高いことから、他の先進国と同様に少子高齢化が進んでおり、人口減少に転じていることから、Bであると判断できる。そして、アジア系は社会増加が大きく、アメリカ合衆国全体に占める割合も大きく増加していることからCであると判断できる。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	10
	2 図は地域別の平均家賃の変化を示した図であるため、平均家賃が上昇した地域で再開発が行われ、居住者層に変容が見られたかを考察させるには不十分である。 そのため、追加で図と同範囲、同時期におけるコミュニティ別職業別就業者数の変化を示した資料を準備する。この資料によって、専門、管理関連就業者等の人数が増えていることを確認させ、居住者の属性が高所得者層へと変容したことをとらえさせる。	問いを正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。	14